

令和6年度社会教育施設評価書（実施結果）

施設名 生命の星・地球博物館

（評価基準） （達成度）	達成（目標値≧100%）	○
	ほぼ達成（目標値≧80%）	△
	未達（目標値<80%）	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検			第三者評価
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向	評価のコメント及び今後の方向性等の提言
利用状況	満足利用者	92%	来館者のニーズを把握し、魅力ある施設づくりに務める。	96.5	○	来館者の意見やニーズを汲み取り、さらに魅力ある施設づくりにつとめる。令和6年は昨年度に引き続き、通常の満足度調査とミュージアムフェスタ期間にもアンケートを実施した。	
	入館者	175,947人	より効果的な広報を実施し、さらに利用促進をはかる。	229,049	○	HPやSNSを効果的に活用した広報を実施し、さらに利用促進をはかる。令和6年度は特別展、企画展とも入館者数が多かった為、常設展入館者数も増えた。	
	への教育・普及事業参加者	4,982人	魅力ある行事づくりをさらに進める。	6,453	○	講座の開催時季や参加者の世代構成などを精査し、魅力ある行事づくりをさらに進める。コロナ禍後も講座の定員を減らして実施している。年々参加者は増加している。	
	トイアクトレス	536,358件	利用者視点に立った情報や記事を増やし、サイトの魅力をさらに増す。	664,445	○	利用者視点に立った閲覧しやすいHP作りを行うとともに、博物館の魅力を伝えるタイムリーな記事に掲載することによって、ウェブサイトの魅力を向上させ、アクセス数のさらなる増加を促す。	
資料・収蔵品	活用	館外貸出 30,718 特別利用 1,087点	外部研究者との連携をさらに密にする。資料の蓄積を進め、利用をさらに活性化させる。	39,640 1,986	○ ○	外部研究者との連携をさらに深めると同時に、資料のさらなる蓄積、信頼のおける資料収集と資料に関連する情報の発信につとめ、資料利用をさらに活性化させる。	
	維持管理	棄損無し	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。	棄損無し	○	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。また、紫外線や振動による劣化を予防する。	
調査研究	研究成果の公開（発表・印刷物等）	学術著作 91 普及著作 62件	外部研究者との連携をさらに密にし、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	学術著作 56 普及著作 41件	×	令和6年度は学芸員が入れ替わった関係で著作が減ったが、引き続き外部研究者との連携を進め、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	

情報発信	の事業 発信情報	690 件	利用者視点に 立った情報、記 事などを増容と 更新につ	739 件	○	利用者視点に 立った情報の 提供、博物館 の魅力を伝え るタイムリー な記事を増や すことによって 、ウェブサイ トの魅力を向 上させる。	
施設運営等	事業等 収入及び	観覧料 43,733 事業収入 2,575 円	魅力あるテー マによる特別 展・企画展の 開催など、来 館者増に繋ぐ 各種の取組を 積極的に実施 する。	観覧料 59,514 事業収入 3,376 円	○ ○	魅力ある特別 展、企画展の 開催や、幅広 い内容の講座 や講演会など 、来館者増に 繋がる各種の 取組を実施す る。令和6年 度は特別展、 企画展とも入 館者数が多か ったため、観 覧料収入が増 えた	
	施設点検	点検を 実施す る	防火・防災に ついて、来館 者視点での点 検を引き続 く。			引き続き、来 館者視点での 点検を実施し 、安全、安心 を確保する。	
	他自己 館の研鑽 研究及び						

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。